

- 1 デパートに屋上があり冬に入る
- 2 去年今年仕方ないから踊ってる
- 3 大寒やJAF(じゃふ)の車がすれ違う
- 4 雪がくる花沢さんと立つ廊下
- 5 啓蟄のタイルにひびのありにけり
- 6 曇りのち晴れではないが春キャベツ
- 7 春光の瓦の屋根を選びけり
- 8 豆の花大衆的と言われても
- 9 朧夜のおじさん蛇行しています
- 10 花は葉にわたし安井になりました
- 11 スコップをめぐるいざこざ青葉若葉
- 12 空梅雨の消しゴムのカス集まって
- 13 六月のカルボナーラの卵割る
- 14 暗がりのマイクスタンドにはバナナ
- 15 夏の海都会人とか渡来人
- 16 せがまれて懸垂をする夏野かな
- 17 どの椅子も脚が四本秋の風
- 18 ごぼと鳴るウォーターサーバ冬日向
- 19 冬の星シンクは水を受けている
- 20 外務省職員赤いマフラーで
- 21 いくつかの塔を含めて春を待つ
- 22 日脚伸ぶLDKのDとK
- 23 ハムカツにがつついている春の犬
- 24 今年からインフラになるこの桜
- 25 春の風すれ違う子の手にチュロス
- 26 A4(ええよん)がカールしている走り梅雨
- 27 フリスビー犬がつかんで梅雨明け
- 28 どくだみや泣く子は泣かせたまま行く
- 29 アンチヨビの瓶を洗って六月尽
- 30 ザリガニがたむろしているラーメン屋
- 31 草いきれ順番待ちのすべり台
- 32 日向夏ペンや剣より強いもの
- 33 炎天のぬらりひよんだよぬらりひよん
- 34 行くところもなく冷やし中華作る
- 35 アロハシャツ特に出し物ありません
- 36 マンホール夏を間引いているところ
- 37 コウモリの時間オカンのアカン時間
- 38 七夕のポストマンまたまたがって
- 39 続々と自動改札生身魂
- 40 国道に沿って無視してギンヤンマ
- 41 天高し着信という震え来て
- 42 秋晴れの螺旋階段のぞきこむ
- 43 石榴から遠く離れてベンチあり
- 44 秋天のスワンボートは四人乗り
- 45 精算のゲート開いて虫の夜
- 46 いちようもみじ財布だけ持つランチ時
- 47 マンションの上にアンテナ冬隣
- 48 カーナビにPが群集冬日向
- 49 ウォーキングマシンそのまま大枯野
- 50 路肩にて傾ぐ軽トラ冬うらら

- 51 ハイオクを満タンにして冬銀河  
52 近隣の店に「さん」付け着ぶくれて  
53 槍投げの選手集まりクリスマス  
54 行く年の車のライト消しに行く  
55 初空をファウルボールが横切って  
56 駅ナカで食うナポリタン三が日  
57 豆を煮る塩ばさばさと初場所に  
58 ムービングウォークつまって成人の日  
59 星冴えて誤飲注意の表示あり  
60 小春風スーツのボタン開けている  
61 春隣ちよつと若いの手伝って  
62 目借時生活防水を試す  
63 龍天に脚立支える方の人  
64 菜の花やボトルシップのそばに猫  
65 朝挽きの地鶏届いて冴え返る  
66 囀りや用事を終えた勝手口  
67 トイレットペーパー転げ猫の恋  
68 猛犬に注意の表示茎立ちぬ  
69 春休み土管の中に隠れてる  
70 四月来る食器返却口こちら  
71 桜鯛天気予報はみんな見る  
72 相席を快諾してる春の昼  
73 風光る無人の部屋にある楽譜  
74 レイアップシュートの先の花曇  
75 3D(すりいでいい)メガネを外し春夕焼
- 76 桜餅サイドバックが駆け上がる  
77 鳥帰る日にち薬というくすり  
78 土手青む日曜大工セット買う  
79 赤上げて白上げないで青き踏む  
80 春の闇犬を踏んづけたらアジア  
81 春愁い中濃ソースしかなくて  
82 相づちはいつも適当春の雲  
83 鍵っ子の鍵がぶらぶら磯遊び  
84 春の海ペンライト計二千本  
85 青葉風拍手で終わるライブ盤  
86 発言の少ない彼が食うパセリ  
87 空梅雨のボタンを押せばシャッターが  
88 黒南風や耳鼻科で耳を掃除する  
89 夏祓自治会長は旅行中  
90 喫煙はこちらバナナはあちらです  
91 経理課が山の天気を語る初夏  
92 生け花の間あいだに薄暑光  
93 制服のところどころに夏みかん  
94 キヤベツだけやたら載せてる漂流記  
95 海開き飛ばされていく式次第  
96 大西日回るテーブル予約する  
97 滝涼しそんな顔して育児して  
98 コーラから泡が噴き出し木下闇  
99 深窓の佳人にメール夏野から  
100 炎昼をドミノ倒しが始まって